



## 2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年8月6日

上場会社名 株式会社東京ソワール 上場取引所 東  
 コード番号 8040 URL https://www.soir.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村越 真二  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営戦略本部長 (氏名) 大島 和俊 (TEL) 03-5474-6557  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (記者向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年12月期第2四半期の業績 (2020年1月1日~2020年6月30日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	5,149	△38.2	△858	—	△724	—	△715	—
2019年12月期第2四半期	8,329	△3.2	191	△48.4	233	△47.1	149	△66.7

  

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	△213.77	—
2019年12月期第2四半期	44.87	—

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	15,849	8,719	55.0
2019年12月期	16,206	9,891	61.0

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 8,719百万円 2019年12月期 9,891百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年12月期の業績予想 (2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	△26.5	△2,000	—	△1,800	—	△1,800	—	△537.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想については、本日(2020年8月6日)公表いたしました「2020年12月期業績予想の公表に関するお知らせ」をご参照下さい。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年12月期2Q	3,860,000株	2019年12月期	3,860,000株
-------------	------------	-----------	------------

② 期末自己株式数

2020年12月期2Q	494,405株	2019年12月期	517,874株
-------------	----------	-----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年12月期2Q	3,348,774株	2019年12月期2Q	3,335,033株
-------------	------------	-------------	------------

(注) 資産管理サービス信託銀行株式会社（信託E口）が保有する自社の株式は、1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	P. 2
(1) 経営成績の概況 .....	P. 2
(2) 財政状態の概況 .....	P. 2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	P. 3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	P. 4
(1) 四半期貸借対照表 .....	P. 4
(2) 四半期損益計算書 .....	P. 6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	P. 7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	P. 9
(継続企業の前提に関する注記) .....	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	P. 9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 経営成績の概況

当第2四半期累計期間(2020年1月1日～2020年6月30日)における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により景況感が急速に悪化し、先行き不透明な状況が続いております。

当アパレル業界におきましても、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う商業施設等の臨時休館や営業時間短縮により大変厳しい状況となりました。緊急事態宣言の解除後も、引き続き消費需要の低迷が継続しており、未だ回復が見込めない状況にあります。

このような経営環境の中、当社は2019年を初年度とする中期経営計画に基づき、「卸売事業の収益改善」「小売事業の収益拡大」「新規事業の開発」「事業基盤の強化」に取り組む一方で、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、感染によるリスク回避のための勤務体制に移行するとともに、店頭販売員の雇用確保措置に努めてまいりました。

そのような中、卸売事業におきましては、継続して取引条件の改善や不採算店舗からの撤退交渉を行いました。小売事業におきましては、直営店「フォルムフォルマ」1店舗の出店を行い、Eコマース販売は、集客プロモーションの強化やEコマース向けに在庫の集約を行ったことにより、堅調に推移いたしました。しかしながら、卒入学式等の各種イベントの縮小や中止、商業施設の臨時休館等の影響により、店頭販売は大幅な計画未達となりました。

商品別の売上高は、ブラックフォーマルが35億95百万円(前年同四半期比31.0%減)、カラーフォーマルが7億85百万円(同53.2%減)、アクセサリ類が7億68百万円(同46.6%減)となり、当期の売上高は、前年同四半期比31億80百万円減の51億49百万円(同38.2%減)となりました。

利益面では、納品の落ち込みなどにより、返品調整引当金は実績△3億6百万円(益)となりましたが、売上総利益は前年同四半期比13億73百万円減の26億50百万円(同34.1%減)となりました。販売費及び一般管理費は、店舗閉鎖や売場撤退、臨時休館による短期臨時従業員などの人件費や賃借料の減少に加え、荷造運賃や旅費交通費の減少もあり、全体では前年同四半期比3億24百万円減(同8.5%減)となりました。

この結果、当第2四半期累計期間の業績は、営業損失8億58百万円(前年同四半期は営業利益1億91百万円)となり、営業外収益において助成金収入83百万円を計上したものの、経常損失は7億24百万円(前年同四半期は経常利益2億33百万円)となりました。また、特別利益として、政策保有株式の見直しによる投資有価証券売却益1億67百万円を計上いたしました。業績推移及び今後の業績動向を踏まえ繰延税金資産を全額取り崩すこととし、法人税等調整額1億42百万円(損)を計上したことから、四半期純損失は7億15百万円(前年同四半期は四半期純利益1億49百万円)となりました。

### (2) 財政状態の概況

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は158億49百万円となり、前事業年度末に比べて3億56百万円減少いたしました。これは主に、棚卸資産の増加6億91百万円や賃貸不動産の増加2億26百万円があったものの、売上債権の減少9億32百万円や投資有価証券の減少7億10百万円によるものであります。

負債は、前事業年度末に比べて8億15百万円増加し71億29百万円となりました。これは主に、仕入債務の減少7億19百万円があったものの、短期借入金の増加17億円によるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べて11億72百万円減少し87億19百万円となりました。これは主に、利益剰余金の減少7億82百万円やその他有価証券評価差額金の減少4億20百万円によるものであります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べて、1億75百万円増加し10億24百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は17億92百万円(前年同四半期は1億38百万円の収入)となりました。これは主に、売上債権の減少9億32百万円があったものの、仕入債務の減少7億19百万円やたな卸資産の増加6億91百万円、税引前四半期純損失5億56百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1百万円(前年同四半期は3億89百万円の支出)となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入2億88百万円があったものの、賃貸不動産の取得による支出2億45百万円、有形固定資産の取得による支出41百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は19億70百万円(前年同四半期は2億2百万円の収入)となりました。これは主に、リース債務の返済による支出51百万円や配当金の支払額49百万円があったものの、短期借入金の増加17億円や長期借入れによる収入3億82百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年7月14日に公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」において未定としておりました2020年12月期の通期業績予想を、現時点で入手可能な情報をもとに算定いたしました。詳細につきましては、本日(2020年8月6日)公表いたしました「2020年12月期業績予想の公表に関するお知らせ」をご参照下さい。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	848,866	1,024,416
受取手形及び売掛金	2,264,338	1,342,939
電子記録債権	36,307	25,347
商品及び製品	5,107,984	5,913,140
仕掛品	225,803	110,129
原材料	548	2,323
その他	295,830	422,261
貸倒引当金	△457	△276
流動資産合計	8,779,222	8,840,282
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,965,649	1,965,649
その他(純額)	800,614	793,516
有形固定資産合計	2,766,264	2,759,166
無形固定資産		
	226,025	280,497
投資その他の資産		
投資有価証券	1,940,739	1,230,233
賃貸不動産(純額)	2,042,352	2,268,870
その他	451,855	471,435
貸倒引当金	△127	△1,078
投資その他の資産合計	4,434,820	3,969,460
固定資産合計	7,427,110	7,009,125
資産合計	16,206,332	15,849,408
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	746,188	301,509
電子記録債務	1,792,763	1,518,193
短期借入金	1,000,000	2,700,000
1年内返済予定の長期借入金	15,675	40,000
未払法人税等	55,469	49,833
返品調整引当金	411,000	105,000
資産除去債務	2,040	—
その他	794,998	557,367
流動負債合計	4,818,134	5,271,904
固定負債		
長期借入金	402,325	750,000
退職給付引当金	654,279	646,327
資産除去債務	99,005	103,614
繰延税金負債	35,823	3,838
その他	305,004	354,091
固定負債合計	1,496,437	1,857,871
負債合計	6,314,572	7,129,775

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,049,077	4,049,077
資本剰余金	3,732,777	3,732,777
利益剰余金	2,336,813	1,554,106
自己株式	△684,142	△652,798
株主資本合計	9,434,526	8,683,162
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	457,233	36,469
評価・換算差額等合計	457,233	36,469
純資産合計	9,891,759	8,719,632
負債純資産合計	16,206,332	15,849,408

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)
売上高	8,329,310	5,149,196
売上原価	4,304,663	2,498,547
売上総利益	4,024,646	2,650,648
販売費及び一般管理費	3,833,080	3,509,017
営業利益又は営業損失(△)	191,566	△858,368
営業外収益		
受取利息	300	306
受取配当金	33,212	31,056
受取賃貸料	29,810	52,217
受取ロイヤリティ	7,689	7,705
助成金収入	—	83,215
その他	12,578	13,641
営業外収益合計	83,591	188,142
営業外費用		
支払利息	592	11,187
賃貸費用	28,484	36,191
支払手数料	11,179	5,241
その他	1,651	1,579
営業外費用合計	41,907	54,200
経常利益又は経常損失(△)	233,250	△724,426
特別利益		
投資有価証券売却益	—	167,919
特別利益合計	—	167,919
特別損失		
減損損失	1,373	—
特別損失合計	1,373	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	231,876	△556,506
法人税、住民税及び事業税	81,998	17,138
法人税等調整額	229	142,230
法人税等合計	82,227	159,369
四半期純利益又は四半期純損失(△)	149,648	△715,876



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	231,876	△556,506
減価償却費	88,810	97,533
減損損失	1,373	—
受取利息及び受取配当金	△33,513	△31,363
支払利息	592	11,187
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△167,909
返品調整引当金の増減額(△は減少)	83,000	△306,000
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,375	770
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△5,891	△7,952
売上債権の増減額(△は増加)	142,556	932,357
たな卸資産の増減額(△は増加)	△33,387	△691,256
前払費用の増減額(△は増加)	53,588	52,117
仕入債務の増減額(△は減少)	△410,954	△719,248
未払金の増減額(△は減少)	△19,279	△164,648
未払消費税等の増減額(△は減少)	73,581	△29,501
その他	△20,909	△221,979
小計	150,069	△1,802,400
利息及び配当金の受取額	33,513	31,363
利息の支払額	△787	△12,882
法人税等の還付額	—	11,701
法人税等の支払額	△44,360	△20,709
営業活動によるキャッシュ・フロー	138,435	△1,792,928
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△7,186	△5,191
投資有価証券の売却による収入	—	288,627
賃貸不動産の取得による支出	△320,400	△245,910
有形固定資産の除却による支出	△16,330	—
有形固定資産の取得による支出	△28,187	△41,977
有形固定資産の売却による収入	2,771	—
資産除去債務の履行による支出	△5,564	△5,783
貸付けによる支出	△2,000	△10,000
貸付金の回収による収入	4,257	2,832
敷金及び保証金の差入による支出	△9,928	△13,476
敷金及び保証金の回収による収入	10,512	12,385
預り敷金及び保証金の返還による支出	△17,179	—
預り敷金及び保証金の受入による収入	—	16,791
その他	1	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△389,232	△1,701
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	50,000	1,700,000
長期借入れによる収入	250,000	382,000
長期借入金の返済による支出	—	△10,000
配当金の支払額	△50,916	△49,916
自己株式の取得による支出	△190	△152
リース債務の返済による支出	△46,564	△51,750
財務活動によるキャッシュ・フロー	202,328	1,970,179

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△48,468	175,550
現金及び現金同等物の期首残高	1,022,863	848,866
現金及び現金同等物の四半期末残高	974,394	1,024,416

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症は徐々に収束し、その影響が当事業年度末まで継続するという仮定のもと、固定資産の減損、繰延税金資産の回収可能性の判断等の会計上の見積りを行っております。